

子どもを犯罪から守るためには、犯罪の起こりそうな危険な場所を親子で把握して、子どもに近づかせないことです。

危険な場所とは「誰もが入りやすい場所」「誰

からも見えにくい場所」です。

親子で一緒に町を探検しながら危険な場所を探してみましよう。

その後、地域安全マップを作り、記録しましょう。

マップが完成したら、危険な場所

には「できるだけ行かない」「行くなら誰かと行く」「そういう場所では気を緩めない」ことを家族で確認しましょう。

子どもに危険を回避する能力を

身に付けさせることが大切です。

子どもを犯罪から守るために

町を歩いて地域安全マップを作り、

自分の身は自分で守るキーワード「いかのおすし」を教え、子どもたちを犯罪から守りましょう。

防犯一口メモ